

2025年4月

会員各位

一般社団法人 日本船舶電装協会

2025年度 船舶電気装備技術者講習及び検定試験のご案内について

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会では、船舶電気装備技術者の技術水準の向上、顧客から会員の皆様に対する信頼の獲得、船舶の安全向上等に寄与するため、装備技術者として必要な知識及び技能に関する講習及び検定試験を実施しています。2025年度に実施する初級（船舶電装士）、中級（主任船舶電装士）、上級（船舶電装管理者）、航海用レーダー等（航海用レーダー整備士）及び無線設備（航海用無線設備整備士）の各講習及び検定試験の実施要領は、「2025年度 船舶電気装備技術者講習・検定試験募集案内」のとおりです。

船舶電気艀装工事事業場、レーダー等装備・整備事業場又はGMDSS設備サービス・ステーションは、施設、人員、実績等について国土交通省の各運輸局等の証明を取得することにより、船舶安全法に基づく船舶検査における船舶検査官の立ち会いを省略することができますが、このためには検定試験に合格した資格者を擁することが必要です。

またこの制度は、日本小型船舶検査機構や一般財団法人日本海事協会が実施している船舶検査においても活用されている他、国や関係団体をはじめとする様々な分野において、船舶の建造・修繕工事の業者選定に際し、工事の質を向上させる目的で活用されています。

船舶電気艀装工事事業場、レーダー等装備・整備事業場及びGMDSS設備サービス・ステーションにおかれましては、船舶電気装備技術者の資格制度の意義と役割をご理解いただいた上で、多くの従業員の皆様がこの講習及び検定試験にご応募されますようご案内申し上げます。

敬 具

講習申込締切日：2025年5月30日（金）必着

【事業主の皆様へ】

事業主の期待は、本人の学習意欲の維持と向上につながります。
事業主から本人に受講・受験の目的や効果をお伝えいただき、途中で諦めることのないよう助言、指導をお願いします。

次の点について、事業主からご指導下さい！

1. 添削問題について

- ・添削問題の解答提出の期日を順守すること
 - ・不明な点がある場合等は、遠慮なく協会の指導技師に質問すること
- 電話：03(3504)0858、ファックス：03(3504)0856

2. 実技試験の準備について

- ・電装工事の基本である、がい装電線の端末処理、工具の取り扱い及びケーブルと接続箱の接続について指導すること

3. 主任船舶電装士の実技試験について

- ・船舶電装士の資格を持たずに主任船舶電装士を受験する場合は、実技試験の受験が必要です。ただし、第1種電気工事士(国家資格)、第2種電気工事士(国家資格)の資格を保有している方は免除されます。

＜学習コーナーのお知らせ＞

検定試験の前日午後に、受験者の勉強の場として学習コーナーを設けています。
学習コーナーは事前の申し込みは不要で、受験者なら誰でも自由に利用できます。
会場の一室に協会の指導技師が待機していますので、分からない点や不得手な分野等について質問し学習することが出来ます。

2025年度 船舶電気装備技術者講習・検定試験募集案内

一般社団法人 日本船舶電装協会

1. 講習と検定試験の種類

講習と検定試験の種類は以下のとおりです。

会員事業場に所属する方が講習を修了すると、下表で対応する検定試験を受験することができ、検定試験に合格すると資格を取得することができます。

講習の種類	検定試験の種類
初級講習	船舶電装士
中級講習	主任船舶電装士
上級講習	船舶電装管理者
航海用レーダー等講習	航海用レーダー整備士
無線設備講習	航海用無線設備整備士

※複数の受講・受験も可能です。

2. 講習について

(1) 対象者（受講できる方）

別項『受講・受験資格について』（5～7ページを参照）に講習の種類ごとに定める条件に該当する方。

(2) 講習のあらまし

講習は、通信講習（添削指導）により行います。

受講申込書の受理後、事業場宛てに指導書をお送りします。

受講される方は指導書で学習し、同封している添削問題に解答を記入して、提出期日までに当協会へ提出して下さい。

＊ 提出期日は、添削問題に記載されています。提出された添削問題は、当協会の指導技師が添削、採点した後、標準解答を添付して事業場を通じて受講者にお返しします。

(3) 指導書の種類と送付開始時期

◎初級講習指導書（下記の4冊） 6月下旬より送付

・電気装備概論編	・電気艀装工事編
・電気工学の基礎編	・電気機器編

◎中級講習指導書（下記の4冊） 6月下旬より送付

・電気装備技術基準編	・電気艀装設計編
・電気計算編	・試験・検査編

◎上級講習指導書（下記の4冊） 6月下旬より送付

・電装生産管理編	・自動制御と遠隔制御編
・SOLAS条約と国内関連法規編	・高圧電気設備編

◎航海用レーダー等講習指導書（下記の4冊） 6月下旬より送付

・基礎理論編	・装備艀装工事編
・機器保守整備編	・AIS・VDR・GPS編

◎無線設備講習指導書（下記の3冊） 6月下旬より送付

・基礎理論編	・艀装工事及び保守整備編
・法規編	

(4) 講習（添削指導）期間

2025年6月下旬～8月下旬

(5) 受験受付票の交付

従前の受講票に代えて、受験受付票を9月発送予定の検定試験案内と一緒に交付します。
受験受付票は検定試験受付の際に提示が必要となりますので大切に保管して下さい。

3. 検定試験について

(1) 対象者（受験できる方）

当協会の会員事業場に所属する方のうち、別項『受講・受験資格について』に示すとおり検定試験の種類別に定める条件に該当する方であって、対応する講習を修了しているか又は本年度に修了する見込みの方。

*当協会の会員事業場に所属する方以外の方であって、対応する講習を修了しているか又は本年度に修了する見込みの方は、試験を申し込み受検することはできませんが可否の判定はなく、資格は取得できません。

(2) 検定試験の内容

検定試験の種類に応じ、下表の試験を行います。

検定試験の種類	筆記試験	実技試験(注1)	口述試験
船舶電装士	○	○	○
主任船舶電装士	○	△(注2)	○
船舶電装管理者	○		○
航海用レーダー整備士	○		○
航海用無線設備整備士	○		○

注1 実技試験の詳細は、別項『実技試験について』（8ページ）を参照して下さい。

注2 船舶電装士又は第1種電気工事士（国家資格）若しくは第2種電気工事士（国家資格）を保有している方は、主任船舶電装士試験のうち実技試験が免除されます。

(3) 検定試験の場所及び日程

実施場所（予定）	実施時期（予定）
札幌、仙台、東京、大阪、広島、高松、福岡	10月～11月

*上記の実施場所は、受験者の人数により変更する場合があります。検定試験の日程や会場は、9月中旬から下旬にかけて所属する事業場を通じてご案内します。

4. 申し込み方法

複数の検定試験を同時に申し込むことができます。

本年度に検定試験を受験する予定の方は、可能な限り同時に申し込んで下さい。

(1) 申し込み方法

必要書類一式を当協会宛てに郵送するか又は直接持ち込んでください。申し込みに必要な書類は次のとおりです。

- 受講申込書（兼 検定試験受験願書）＊ 様式1.1～1.5

講習種類別の申込書『受講申込書（兼 検定試験願書）』を利用し、記載方法をよく読んで記入して下さい。

受講・受験者が複数の場合は、様式をコピーして下さい。

既に講習の受講を完了し、今年度は検定試験の受験のみを申し込む場合は『船舶電気装備技術資格者検定試験 受験願書』（様式2.1）を利用して下さい。

- 顔写真

大きさ、枚数は、記載方法を参照して下さい。

- 各種証明書のコピー（A4版）

受講・受験資格の軽減措置を受ける方は、関連する証明書や免状の写し（A4版）を添付してください。

(2) 申込期日

締切日 2025年5月30日（金） 必着

この募集案内を送付後から、随時受付いたします。

(3) 受講料及び受験料

- ① 受講料及び受験料 全種類共通（消費税10%込み）

	受講料 1件につき	受験料 1件につき
会員事業場に所属する方	12, 600円	5, 400円
上記以外の方（注1）	25, 200円	5, 400円

注1 前述のとおり当協会の会員事業場に所属する方以外の方であって、対応する講習を修了しているか又は本年度に修了する見込みの方は、試験を申し込み受験することはできますが可否の判定はなく、資格を取得することはできません。

- ② 受講料（及び受験料）の払込み方法

申込書と一緒に「現金書留」で送付していただくか、又は申込書を送付した後に「銀行振込」若しくは「郵便振替」により送金してください。

振込等により送金される場合は、申込書に送金予定日を記入してください。

振込先 口座名 一般社団法人 日本船舶電装協会

シャ)ニホンセンパクデンソウキョウカイ

三菱UFJ銀行 本店 普通預金 7644207

三井住友銀行 東京公務部 普通預金 389180

みずほ銀行 虎ノ門支店 普通預金 1965512

郵便振替 00150-6-144764

＊ 振込手数料は貴社でご負担下さい。

適格請求書発行事業者登録番号: T3010405010607

(4) 払い込み済みの受講料・受験料について

指導書送付後は、受講料を返金できません。

受験日の1ヶ月前までに検定試験の受験申込みを取り消された場合は、受験料を返金致します。

(5) 申込書の送付先

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目11番2号

日本財団第二ビル 5階

一般社団法人 日本船舶電装協会 技術部

電話：03-3504-0858 FAX：03-3504-0856

受講・受験資格について

資格を取得するために受講・受験できるのは、講習・検定試験の種類別に定められた条件に該当する方に限ります。当協会の会員事業場に所属する方以外の方も受講・受験はできますが、資格を取得することはできません。

講習の申し込みと同時に、対応する検定試験の申し込みをすることができます。

初級講習及び船舶電装士検定試験

下表のとおり、学歴ごとに定められた経験年数を満たす方が受講・受験できます。
検定試験の受験には、初級講習を修了するか又は修了見込みであることが必要です。

学歴	経験年数
工業高校の電気専門課程卒業	1年以上
普通高校卒業	2年以上
中学校卒業	3年以上

- * 工業高校の電気専門課程の範囲には、専修学校の電気工事科及び職業訓練校の電気機器科、電気工事科、発電電科又は送配電科が含まれます。
- * 普通高校の範囲には、工業高校電気専門課程以外のすべての高校、学科が含まれます。また、大学及び工業高等専門学校 of 電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- * 経験年数とは船舶電装工事の経験年数であり、当該年（2025年度）を含みます。

【軽減措置】

下表に該当する方の経験年数は次のとおり軽減されます。

所有している他の資格	経験年数
電気工事士（国家資格）	1年以上

中級講習及び主任船舶電装士検定試験

下表のとおり、学歴ごとに定められた経験年数を満たす方が受講・受験できます。
検定試験の受験には、中級講習を修了するか又は修了見込みであることが必要です。

学歴又は資格	経験年数
大学（工）の電気専門課程卒業	1年以上
工業高等専門学校の電気専門課程卒業	2年以上
船舶電装士	2年以上

- * 工業高等専門学校の電気専門課程の範囲には、短期大学の電気専門課程、専修学校の電気工学科及び職業訓練短大の電気科が含まれます。
- * 経験年数とは船舶電装工事の経験年数で、当該年（2025年度）を含みます。

【軽減措置】

下表に該当する方の経験年数は次のとおり軽減されます。

学歴又は資格	所有している他の資格又は経験年数	経験年数
船舶電装士を保有又は工業高等専門学校の電気専門課程卒業	第3種、第2種又は第1種電気主任技術者（国家資格）	1年以上
船舶電装士	船舶電気装備工事の経験年数10年以上	1年以上

上級講習及び船舶電装管理者検定試験

下表のとおり、学歴ごとに定められた経験年数を満たす方が受講・受験できます。
検定試験の受験には、上級講習を修了するか又は修了見込みであることが必要です。

資 格	監督業務の経験年数
主任船舶電装士	左記の資格を取得してから4年以上

- * 監督業務とは、船舶電気設備に関する業務（設計、工事（整備及び修理を含む。）及び自主検査をいう。）に従事する人員を直接監督する方のうち、当該業務に対して責任を有する方として選任された方であって、少なくとも課長又はそれと同等程度以上の職責を有する方が実施する業務です。
- * 経験年数は当該年（2025年度）を含みます。

【軽減措置】

下表に該当する方の経験年数は次のとおり軽減されます。

所有している他の資格	経験年数
第3種電気主任技術者（国家資格）	3年以上
第2種又は第1種電気主任技術者（国家資格）	2年以上

航海用レーダー等講習及び航海用レーダー整備士検定試験

下表のとおり、学歴ごとに定められた経験年数を満たす方が受講・受験できます。
検定試験の受験には、航海用レーダー等講習を修了するか又は修了見込みであることが必要です。

学歴	経験年数
大学（工）の電子・電気専門課程卒業	1年以上
工業高等専門学校 of 電子・電気専門課程卒業	2年以上
工業高校の電子・電気専門課程卒業	3年以上
普通高校卒業	4年以上
中学校卒業	5年以上

- * 工業高等専門学校の電子・電気専門課程の範囲には、短期大学の電子・電気専門課程、専修学校の電子・電気工学科又は無線通信科及び職業訓練短大の電子・電気科が含まれます。
- * 工業高校の電子・電気専門課程の範囲には、職業訓練校の電子機器科が含まれます。
- * 普通高校の範囲には、工業高校、工業高等専門学校及び大学の電子・電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- * 経験年数とはレーダー等整備工事の経験年数であり、当該年（2025年度）を含みます。

【軽減措置】

下表に該当する方の経験年数は次のとおり軽減されます。

所有している他の資格	経験年数
第1級陸上無線技術士（電波法）	1年以上
第1級総合無線通信士（電波法）、 第1級海上無線通信士（電波法）、 第2級総合無線通信士（電波法）、 第2級海上無線通信士（電波法）、 第2級陸上無線技術士（電波法）又は 第3級総合無線通信士（電波法）	2年以上
第3級海上無線通信士（電波法）又は 第4級海上無線通信士（電波法）	3年以上

無線設備講習及び航海用無線設備整備士検定試験

下表のとおり、学歴ごとに定められた経験年数を満たす方が受講・受験できます。

検定試験の受験には、無線設備講習を修了するか又は修了見込みであることが必要です。

学歴	経験年数
大学（工）の電子・電気専門課程卒業	1年以上
工業高等専門学校 of 電子・電気専門課程卒業	2年以上
工業高校の電子・電気専門課程卒業	3年以上
普通高校卒業	4年以上
中学校卒業	5年以上

- * 工業高等専門学校の電子・電気専門課程の範囲には、短期大学の電子・電気専門課程、専修学校の電子・電気工学科又は無線通信科及び職業訓練短大の電子・電気科が含まれます。
- * 工業高校の電子・電気専門課程の範囲には、職業訓練校の電子機器科が含まれます。
- * 普通高校の範囲には、工業高校、工業高等専門学校及び大学の電子・電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- * 経験年数とは無線設備整備工事の経験年数で、当該年（2025年度）を含みます。

【軽減措置】

下表に該当する方の経験年数は次のとおり軽減されます。

所有している他の資格	経験年数
第1級陸上無線技術士（電波法）	1年以上
第1級総合無線通信士（電波法）、 第1級海上無線通信士（電波法）、 第2級総合無線通信士（電波法）、 第2級海上無線通信士（電波法）、 第2級陸上無線技術士（電波法）又は 第3級総合無線通信士（電波法）	2年以上
第3級海上無線通信士（電波法）又は 第4級海上無線通信士（電波法）	3年以上

実技試験について

船舶電装士・主任船舶電装士の検定試験における実技試験の問題は下記のとおりです。

1本のケーブル（TPYC-2.5）を圧着端子により、防水形小型接続箱に接続する一連の実技作業を「基本に忠実に」行えることを以下の観点からチェックします。制限時間は30分です。

(1) 線端処理

- がい装を適当な位置で除去し、ほつれ止めを施しているか。
- シースを傷つけないように適当な位置で除去しているか。
- 絶縁物を傷つけないように除去しているか。
- 導体の心線出し、その保護に注意しているか。
- 圧着端子を確実に取り付けているか。

(2) 線端識別表示

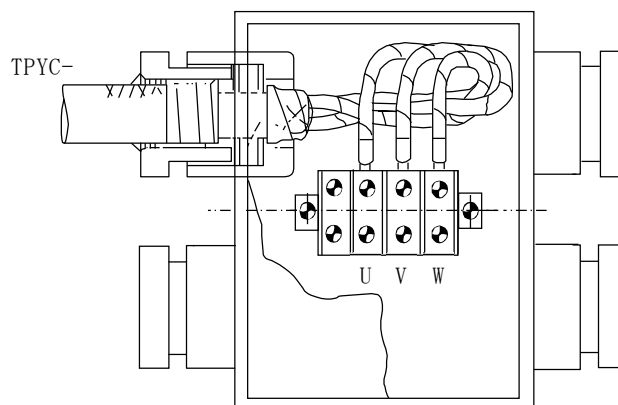
- JEM規定に従って、線端識別のための色別テーピングを行っているか。

(3) ケーブルを接続箱内に導入する

- 上下の結線空間の一番遠い端子に接続できる十分な長さとしているか。
- ケーブルに適合するガスケット及び座金を選定しているか。
- 端子に確実に結線しているか。
- 予備端子を締め付けているか。

(4) 電線貫通金物導入部の防水処理

- 電線が抜けないように適切に締め付けグランドを締め付けているか。
- ガスケットを電線のシースの上で締め付けているか。



【船舶電装士等の実技試験の受験要領と準備（日本船舶電装協会ホームページに掲載）】

https://www.ship-densou.or.jp/bos-an/2025_jitugisiken.pdf



一般社団法人 日本船舶電装協会

様式 1.1

		※ 受講番号		※ 受験番号	
初級（電装士）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書）					
				年	月 日
申 込 者	ふりがな			生年月日	年 月 日
	本人氏名	姓	名	役職名	
	(所属事業場名)				
	(代表者氏名) ⑩				
	(所在地)				
(連絡担当者)					(電話番号)
技能手帳の有無・手帳番号			有（手帳番号 S）・無		
学 歴	卒業学校名		学部	学 科	卒業年月
					年 月
					年 月
陸上電気関係の保有資格の名称					取得年月 年 月
船舶電気装備工事の通算経験年数			(2026年4月1日現在) 年		
【会員のみのみ】 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地を記入して下さい。					
☐ 船舶電装士検定試験を申し込む					
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)			札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡		
顔 写 真 貼 付 欄 (非会員は貼付不要)		上端のりづけ [講習用] 上端のりづけ [検定試験用]			
・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm） ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい		※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。			
受講料及び受験料 (金額は消費税込み)		受講のみの方：12,600円（非会員は25,200円） 受講及び検定試験の方：18,000円（非会員は30,600円） 別途送金の場合：送金予定日 月 日（銀行振込・郵便振替）			

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「**本人氏名**」「**ふりがな**」欄には、受講・受験者本人の氏名を姓名に分けて記入して下さい。
- (2) 「**生年月日**」欄には、受講・受験者の生年月日を記入して下さい。
- (3) 「**役職名**」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「**所属事業場名**」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。本人が資格を取得する際の所属事業場となりますので、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「**代表者名**」欄は、所属事業場の代表者又は責任者の役職名と氏名を記入し、押印して下さい。
- (6) 「**所在地**」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「**連絡担当者**」欄には、この申し込みについての問い合わせに回答できる方の氏名を記入して下さい。
- (8) 「**電話番号**」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「**技能手帳の有無・手帳番号**」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「**学歴**」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に関する学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。
例：高等学校が『工業高校電気科卒業』で、最終学歴が『大学の文系学部卒業』である方は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「**陸上電気関係の保有資格の名称**」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。
- (12) 「**船舶電気装備工事の通算経験年数**」欄には、当該年（2025年度）を含む船舶電気装備工事の経験年数を記入して下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

※ 講習及び検定試験の申し込みは、会員の事業場に所属する方に限定されます。その他の方も申し込みはできますが、試験の可否の判定はなく資格は取得できません。

- (13) 「**船舶電装士検定試験を申し込む**」欄に○印をつけて下さい。
- (14) 「**受験希望地**」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

※ 会員の事業場に所属する方以外の方は、顔写真の貼付は不要です。

- (A) 枚数について
顔写真は、講習用に1枚、検定試験用に1枚の合計2枚が必要です。ただし、講習のみを申し込む場合は1枚のみ貼付して下さい。
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最大で2枚です。
- (B) 写真について
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真は可で、白黒・カラーは問いません。
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。
「**顔写真貼付欄**」の所定の箇所へ、写真の上端だけをのり付けして下さい。

様式 1.2

		※ 受講番号		※ 受験番号	
中級（主任）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書）					
年 月 日					
申 込 者	ふりがな			生年月日	年 月 日
	本人氏名	姓	名	役職名	
	(所属事業場名)				
	(代表者名) 印				
	(所在地)				
		(連絡担当者) (電話番号)			
技能手帳の有無・手帳番号			有（手帳番号 S）・無		
学 歴	卒業学校名	学 部	学 科		卒業年月
					年 月
					年 月
陸上電気関係の保有資格の名称				取得年月	年 月
船舶電気装備工事の通算経験年数		(2026年4月1日現在) 年			
船舶電装士の取得年月		年 月	船舶電装士取得後の 電気装備工事の経験年数	(4月1日現在) 年	
【会員のみ】同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地を記入して下さい。					
☐ 主任船舶電装士検定試験を申し込む					
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡			
顔 写 真 貼 付 欄 (非会員は貼付不要) ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm） ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい		上端のりづけ [講習用] 上端のりづけ [検定試験用] ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。			
受講料及び受験料 (金額は消費税込み)		受講のみの方：12,600円（非会員は25,200円） 受講及び検定試験の方：18,000円（非会員は30,600円） 別途送金の場合：送金予定日 月 日（銀行振込・郵便振替）			

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を姓名に分けて記入して下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、受講・受験者の生年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。本人が資格を取得する際の所属事業場となりますので、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者又は責任者の役職名と氏名を記入し、押印して下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについての問い合わせに回答できる方の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。

受講・受験資格に必要な経験年数の算定に関する学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。

例：高等学校が『工業高校電気科卒業』で、最終学歴が『大学の文系学部卒業』である方は、両方とも記入して下さい。

- (11) 「陸上電気関係の保有資格の名称」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。
- (12) 「船舶電気装備工事の通算経験年数」欄には、当該年（2025年度）を含む船舶電気装備工事の経験年数を記入して下さい。
- (13) 「船舶電装士の取得年月」欄には、資格を取得した年月を、「船舶電装士取得後の経験年数」欄には、その船舶電装士の取得年月から起算して当該年（2025年度）を含む船舶電気装備工事の経験年数を記入して下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

※ 講習及び検定試験の申し込みは、会員の事業場に所属する方に限定されます。その他の方も申し込みはできますが、可否の判定はなく資格は取得できません。

- (14) 「主任船舶電装士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (15) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

※ 会員の事業場に所属する方以外の方は、顔写真の貼付は不要です。

(A) 枚数について

顔写真は、講習用に1枚、検定試験用に1枚の合計2枚が必要です。ただし、講習のみを申し込む場合は1枚のみ貼付して下さい。

本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最大で2枚です。

(B) 写真について

上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真は可で、白黒・カラーは問いません。

撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。

(C) その他

顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。

「顔写真貼付欄」の所定の箇所へ、写真の上端だけをのり付けして下さい。

様式 1.3

※ 受講番号		※ 受験番号	
上級（管理者）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書）			
		年 月 日	
申 込 者	ふりがな	姓	名
	生年月日	年 月 日	
	本人氏名	姓	名
	役職名		
	(所属事業場名)		
(代表者名)			印
(所在地)			
(連絡担当者)			(電話番号)
技能手帳の有無・手帳番号		有（手帳番号 S）・無	
陸上電気関係の保有資格の名称		取得年月 年 月	
主任船舶電装士の取得年月		年 月	
船舶電気装備工事に 関する監督業務の経歴	役職名（又は職務内容）	就任年月	在任期間
		年 月	年 ヶ月
		年 月	年 ヶ月
	(現職)	年 月	年 ヶ月
【会員のみ】同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地を記入して下さい。			
☐ 船舶電装管理者検定試験を申し込む			
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡	
顔写真貼付欄 (非会員は貼付不要)			
・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの(縦4cm・横3cm)			
・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい			
	上端のりづけ	上端のりづけ	
	[講習用]	[検定試験用]	
	※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚(計2枚)を貼付して下さい。		
受講料及び受験料 (金額は消費税込み)	受講のみの方：12,600円(非会員は25,200円) 受講及び検定試験の方：18,000円(非会員は30,600円) 別途送金の場合：送金予定日 月 日(銀行振込・郵便振替)		

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を姓名に分けて記入して下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、受講・受験者の生年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。本人が資格を取得する際の所属事業場となりますので、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者又は責任者の役職名と氏名を記入し、押印して下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについての問い合わせに回答できる方の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「陸上電気関係の保有資格の名称」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。
- (11) 「主任船舶電装士の取得年月」欄には、資格を取得した年月を記入して下さい。
- (12) 「船舶電気装備工事に係る監督業務の経歴」欄には、該当する業務について役職名、就任年月及び在任期間を記入して下さい。在任期間は当該年（2025年度）を含む年月を記入して下さい。監督業務の定義は、募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

※ 講習及び検定試験の申し込みは、会員の事業場に所属する方に限定されます。その他の方も申し込みはできますが、可否の判定はなく資格は取得できません。

- (13) 「船舶電装管理者検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (14) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

※ 会員の事業場に所属する方以外の方は、顔写真の貼付は不要です。

(A) 枚数について

顔写真は、講習用に1枚、検定試験用に1枚の合計2枚が必要です。ただし、講習のみを申し込む場合は1枚のみ貼付して下さい。

本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最大で2枚です。

(B) 写真について

上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真は可で、白黒・カラーは問いません。

撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。

(C) その他

顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。

「顔写真貼付欄」の所定の箇所へ、写真の上端だけをのり付けして下さい。

様式 1.4

		※ 受講番号		※ 受験番号	
航海用レーダー等講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書）					
				年	月 日
申 込 者	ふりがな			生年月日	年 月 日
	本人氏名	姓	名	役職名	
	(所属事業場名)				
	(代表者名) 印				
	(所在地)				
(連絡担当者)			(電話番号)		
技能手帳の有無・手帳番号			有（ 手帳番号 S ） ・ 無		
学 歴	卒業学校名	学 部	学 科	卒業年月	
				年 月	
				年 月	
保 有 資 格	資格の名称	取得年月	資格の名称	取得年月	
		年 月		年 月	
		年 月		年 月	
		年 月		年 月	
航海用レーダー等の整備の経験年数		(2026年4月1日現在) 年		メーカー研修の 受講経験	有・無
【会員のみ】 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地を記入して下さい。					
☐ 航海用レーダー整備士検定試験を申し込む					
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡			
顔 写 真 貼 付 欄 (非会員は貼付不要) ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm） ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい		上端のりづけ [講習用] 上端のりづけ [検定試験用] ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。			
受講料及び受験料 (金額は消費税込み)		受講のみの方 : 12,600円（非会員は25,200円） 受講及び検定試験の方 : 18,000円（非会員は30,600円） 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日（銀行振込・郵便振替）			

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「**本人氏名**」「**ふりがな**」欄には、受講・受験者本人の氏名を姓名に分けて記入して下さい。
- (2) 「**生年月日**」欄には、受講・受験者の生年月日を記入して下さい。
- (3) 「**役職名**」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「**所属事業場名**」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。本人が資格を取得する際の所属事業場となりますので、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「**代表者名**」欄は、所属事業場の代表者又は責任者の役職名と氏名を記入し、押印して下さい。
- (6) 「**所在地**」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「**連絡担当者**」欄には、この申し込みについての問い合わせに回答できる方の氏名を記入して下さい。
- (8) 「**電話番号**」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「**技能手帳の有無・手帳番号**」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「**学歴**」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に関する学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。
例：高等学校が『工業高校電気科卒業』で、最終学歴が『大学の文系学部卒業』である方は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「**保有資格**」欄には、保有している無線・通信関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。
- (12) 「**航海用レーダー等の整備の経験年数**」欄には、当該年（2025 年度）を含む整備工事の経験年数を記入して下さい。
- (13) 「**メーカー研修の受講経験**」欄には、その有無を○印で囲んで下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

- ※ 講習及び検定試験の申し込みは、会員の事業場に所属する方に限定されます。その他の方も申し込みはできますが、可否の判定はなく資格は取得できません。
- (14) 「**航海用レーダー整備士検定試験を申し込む**」欄に○印をつけて下さい。
 - (15) 「**受験希望地**」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

- ※ 会員の事業場に所属する方以外の方は、顔写真の貼付は不要です。
- (A) 枚数について
顔写真は、講習用に1枚、検定試験用に1枚の合計2枚が必要です。ただし、講習のみを申し込む場合は1枚のみ貼付して下さい。
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最大で2枚です。
 - (B) 写真について
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真は可で、白黒・カラーは問いません。
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
 - (C) その他
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。
「**顔写真貼付欄**」の所定の箇所へ、写真の上端だけをのり付けして下さい。

様式 1.5

※ 受講番号		※ 受験番号				
無線設備講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書）						
		年	月	日		
申 込 者	ふりがな		生年月日	年	月	日
	本人氏名	姓	名	役職名		
	(所属事業場名)					
	(代表者名) ⑩					
	(所在地)					
(連絡担当者) (電話番号)						
技能手帳の有無・手帳番号		有（ 手帳番号 S ） ・ 無				
学 歴	卒業学校名	学 部	学 科	卒業年月		
				年 月		
				年 月		
保 有 資 格	資格の名称	取得年月	資格の名称	取得年月		
		年 月		年 月		
		年 月		年 月		
		年 月		年 月		
無線設備等の整備の経験年数		(2026年4月1日現在) 年		メーカー研修の 受講経験	有・無	
【会員のみ】 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地を記入して下さい。						
☐ 航海用無線設備整備士検定試験を申し込む						
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡				
顔 写 真 貼 付 欄 (非会員は貼付不要) ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm） ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい		上端のりづけ [講習用] 上端のりづけ [検定試験用] ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。				
受講料及び受験料 (金額は消費税込み)		受講のみの方 : 12,600円（非会員は25,200円） 受講及び検定試験の方 : 18,000円（非会員は30,600円） 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日（銀行振込・郵便振替）				

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「**本人氏名**」「**ふりがな**」欄には、受講・受験者本人の氏名を姓名に分けて記入して下さい。
- (2) 「**生年月日**」欄には、受講・受験者の生年月日を記入して下さい。
- (3) 「**役職名**」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「**所属事業場名**」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。本人が資格を取得する際の所属事業場となりますので、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「**代表者名**」欄は、所属事業場の代表者又は責任者の役職名と氏名を記入し、押印して下さい。
- (6) 「**所在地**」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「**連絡担当者**」欄には、この申し込みについての問い合わせに回答できる方の氏名を記入して下さい。
- (8) 「**電話番号**」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「**技能手帳の有無・手帳番号**」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「**学歴**」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に関する学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。
例：高等学校が『工業高校電気科卒業』で、最終学歴が『大学の文系学部卒業』である方は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「**保有資格**」欄には、保有している無線・通信関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の「受講・受験資格について」を参照して下さい。
- (12) 「**無線設備等の整備の経験年数**」欄には、当該年（2025 年度）を含んだ整備工事の経験年数を記入して下さい。
- (13) 「**メーカー研修の受講経験**」欄には、その有無を○印で囲んで下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

- ※ 講習及び検定試験の申し込みは、会員の事業場に所属する方に限定されます。その他の方も申し込みはできますが、可否の判定はなく資格は取得できません。
- (14) 「**航海用無線設備整備士検定試験を申し込む**」欄に○印をつけて下さい。
 - (15) 「**受験希望地**」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

- ※ 会員の事業場に所属する方以外の方は、顔写真の貼付は不要です。
- (A) 枚数について
顔写真は、講習用に1枚、検定試験用に1枚の合計2枚が必要です。ただし、講習のみを申し込む場合は1枚のみ貼付して下さい。
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最大で2枚です。
 - (B) 写真について
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真は可で、白黒・カラーは問いません。
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
 - (C) その他
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。
「**顔写真貼付欄**」の所定の箇所へ、写真の上端だけをのり付けして下さい。

船舶電気設備技術資格者検定試験 受験願書
(検定試験のみ申し込む場合に使用して下さい)

年 月 日

年 月 日

申
込
者

ふりがな

--	--

生年月日

年 月 日

本人氏名

姓

名

役職名

(所属事業場名)

(代表者名)

印

(所在地)

(連絡担当者)

(電話番号)

技能手帳の有無・手帳番号

有 (手帳番号 S) ・ 無

申し込む検定試験の種類 (いずれか1つを○で囲んで下さい)

1. 船舶電装士
2. 主任船舶電装士
3. 船舶電装管理者
4. 航海用レーダー整備士
5. 航海用無線設備整備士

受 講 履 歴
(○で囲み、受講年度を記入)

初級講習・中級講習・上級講習・
航海用レーダー等講習・無線設備講習

年度 修了

受験希望地
(一ヶ所を○で囲んで下さい)

札幌・仙台・東京・大阪・広島・高松・福岡

顏 寫 真 貼 付 欄

上端のりづけ

- ・ 申込み前 6 ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦 4 cm・横 3 cm）
- ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい

※ 複数の検定試験を申し込む方でも、顔写真は1枚を貼付して下さい。

受 験 料
(金額は消費税込み)

検定試験1種類につき 5,400円
別途送金の場合： 送金予定日 月 日（銀行振込・郵便振替）

(注) 1 : 一人で複数の検定試験を申し込む場合は、検定試験の種類ごとに提出して下さい。

2：受講と検定試験を同時に申し込む方は、この用紙を使わずに受講申込書・受験願書兼用の用紙を使用して下さい。

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- この受験願書は、講習を申し込まずに検定試験のみを申し込む方だけが使用して下さい。
 - 講習も申し込む方は、講習・検定試験共通の申込書を使用して下さい。
 - 1人で複数の検定試験を申し込む場合は、検定試験の種類ごとに提出して下さい。
 - 検定試験の申し込みは、会員の事業場に所属する方に限定されます。その他の方も受験の申し込みはできますが、可否の判定はなく資格は取得できません。
- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を姓名に分けて記入して下さい。
 - (2) 「生年月日」欄には、受講・受験者の生年月日を記入して下さい。
 - (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
 - (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。本人が資格を取得する際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
 - (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者又は責任者の役職名と氏名を記入し、押印して下さい。
 - (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
 - (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについての問い合わせに回答できる方の氏名を記入して下さい。
 - (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
 - (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
 - (10) 「申し込む検定試験の種類」欄には、検定試験の種類を1つ選んで○で囲んで下さい。
 - (11) 「受講履歴」欄には、申し込む検定試験に対応する講習について、講習名1つを○で囲み、その修了又は修了見込み年度を記入して下さい。
 - (12) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

(A) 枚数について

検定試験用の顔写真は、1人につき1枚が必要です。

本年度に他の検定試験を申し込む場合、検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はなく1枚のみ必要です。ただし他の種類の講習を申し込む場合は、講習用の顔写真が1枚必要です。必要な顔写真の枚数は、1人につき最大で2枚です。

(B) 写真について

上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真は可で、白黒・カラーは問いません。

撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。

(C) その他

顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。

「顔写真貼付欄」の所定の箇所へ、写真の上端だけをのり付けして下さい。